

平成27年度第2回那須町総合教育会議 会議録						
開催日時		平成27年10月30日(金) 午後3時				
開催場所		那須町役場403会議室				
会議 出席 状況	町長	高久 勝		出席		
	教育委員	大森源一郎		出席		
		鈴木尚哉		出席		
		菊地昭一		出席		
		菊地厚子		出席		
	教育長	平久井好一		出席		
	事務局	学校教育課長	益子英夫	生涯学習課長	池澤幸雄	
			こども未来課長	渡辺登志雄	学校教育課	君島文敏
			学校教育課	大田原智美	学校教育課	井上文浩
	次 第					
1	開 会	午後3時				
2	あいさつ	町長 教育委員長				
3	協議事項	(1) 教育大綱の策定について (2) 平成28年度主要事業について				
4	そ の 他	教育委員と社会教育委員との懇談会について				
5	閉 会	午後4時30分				
6	傍 聴 人	0名				
7	会議の要旨	次のとおり				

平成27年度 第2回那須町総合教育会議 発言要旨

平成27年10月30日（金）午後3時00分～

○学校教育課長

定刻となりましたので、ただいまから、平成27年度第2回那須町総合教育会議を開会いたします。

本日の会議は、教育大綱の策定に際し幼児教育の観点から関係があります、子ども未来課の渡辺課長も出席しておりますのであらかじめお知らせいたします。

初めに、本会議の主宰者であります、高久町長があいさつを申し上げます。

○町長

町長あいさつ

○学校教育課長

次に、教育委員を代表して、大森委員長からあいさつをいただきます。

○委員長

委員長あいさつ

○学校教育課長

ありがとうございました。

それでは、次第の3 協議事項について協議していただきます。

ここからの議事進行は高久町長が行います。

○町長

円滑な議事運営に努めさせていただきたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

最初に、次第3の「(1) 教育大綱の策定について」を議題といたします。

事務局で説明をお願いします。

○学校教育課長（資料1-1「那須町教育大綱の策定について」）により説明

○町長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質問はありますか。

○菊地厚子委員

大綱素案の検討にどの程度時間をとれるのか、今日の会議の時間配分を教えてください。

○学校教育課長

本日の協議題は大きく2つあるので、会議終了予定時間の午後5時から逆算いたしますと、教育大綱の策定については概ね午後4時前に終了したいと考えております。

○鈴木尚哉委員

大綱の期間は法令に特段の定めが無いとのことですが、今回計画期間を5年とした根拠は何ですか。

○学校教育課長

平成28年度から第7次那須町振興計画の前期基本計画がスタートしますので、それに合わせたものです。それ以外にも首長の任期に合わせるなどの考え方もあろうかと思えます。

○鈴木尚哉委員

首長の任期に合わせる考え方もあるのなら、区切りとしてはその方が良いような気がします。

○学校教育課長

町の上位計画である振興計画に合わせた方が、今後運営していく上では良いと考えております。また、1度策定した後は5年間全く見直しができないということではなく、首長の任期によって見直すなどはあり得ると思えます。スタートとしてはやはり振興計画に合

わせた方が良くと考えております。

○大森源一郎委員長

5年間という計画期間ではあるが、首長の任期等で臨機応変に見直すことはできるということですね。

○町長

総合教育会議は町長と教育委員会が協議調整し意思疎通を図る場ということで、そこで協議して策定される教育大綱は町の教育の大きな柱となるものですから、町長が変わるたびに左右にぶれるということではいかななものかと思えます。多少の修正はあっても、5年、10年は同じ姿勢でいかないと子どもたちが戸惑ってしまうと思えます。私が次回どうなるかはわかりませんが、いずれにしても不動の教育大綱があった方が子どもたちも先生方も関係者もやりやすいと思えますので、その辺でご理解いただきますようお願いいたします。

○大森源一郎委員長

まさにその通りですね。

策定のスケジュールの確認ですが、今回素案の検討をし、その後教育委員会等で何度か検討を重ね、最終的には28年度第1回の総

合教育会議で町長が策定するということですか。

○学校教育課長

その予定です。

○町長

その他にありませんか。なければ策定については資料1-1のスケジュールに沿って進めて行くということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○町長

次に資料1-2「那須町教育大綱（案）」について事務局の説明を求めます。

○学校教育課長（資料1-2「那須町教育大綱（案）」）により説明

○町長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質問はありますか。

○菊地厚子委員

基本理念ですが、10月16日に行われた教育委員の研修会の際に示された大綱の素案と何が変わっているのか比べてみますと、当初のものは幼児教育の部分がなかったと思います。私は学校教育の

前に保育・子育てという部分が入ったほうが良いと考えていますので、今後の検討機会にお話しさせていただきたいと思います。

また、郷土愛という言葉が①と④に出てきますが、短い文章の中に2回出てきますのでもう少し整理した方が良いと思います。

○町長

ただいまのご意見について、事務局はいかがですか。

○学校教育課長

前回の研修会の際にも幼児教育の視点が欠けているのではないかという指摘がありましたので、幼児期からの教育により次世代を担う子どもを育てましょうということで①の部分を作成いたしました。

そのあとに生涯学習分野としてスポーツや文化芸術に関する記述を盛り込みまして、基本理念として大きくこの4つにまとめたところです。原案に固執するものではないと考えておりますので、いただいたご意見を基に見直しをしていきたいと考えております。

また、郷土愛という言葉についてもこれで良いかを含めて検討したいと思います。

○町長

その他にいかがでしょうか。

○大森源一郎委員長

私はとても良くできていると思います。生涯学習と学校教育が上手く取り入れてあると思います。何よりも「那須のひとづくり」という言葉が良い。幼児教育から学校教育、生涯学習と町全体で一貫して考えていかななくてはならないと思うので幼児教育の部分を入れたのは賛成です。

郷土愛という言葉は良い言葉だが何かに変えられるか検討していただければと思う。

○町長

その辺につきましてはご意見ということで検討させていただきたいと思います。その他に何かございますか。

私の方から1つよろしいでしょうか。振興計画に沿った形で大綱を作成しているという説明を先ほどからしていますが、その振興計画の前期基本計画の素案を昨日議員の皆さんにお示ししているのので、教育委員の皆様にもお示しした方が良いと思います。振興計画に沿っているかどうか見ないとわからないと思いますので、それを見ながら検討いただくという時間もあって良いと思います。

○学校教育課長

確かに町長のご指摘のとおりかと思しますので、来月の教育委員会の際に振興計画の素案を教育委員の皆さんにお示しして、大綱との整合性を確認していただき、より良いものにして行きたいと思えます。

○町長

その他に何かございますか。

○菊地厚子委員

私は那須町の教育目標をどこに置くのかということがすごく重要だと思います。一人ひとりが生涯学習で自分の学びを追求していけばそれでいいというものではなく、そこにとどまらず学んだものを地域社会で活かしていけるような「那須のひとづくり」を目指して欲しいと思います。生涯学習の目的というのは自分のためだけではないという観点を入れられないかと考えています。

○町長

ただいまのご意見について、事務局から何かございますか。

○学校教育課長

ただいまのご意見の内容がこの大綱の素案にあるかということですが、生涯学習というものは自分のためだけのものではないという

ことは、生涯学習ビジョンの中で、「ふれあい、つながる生涯学習のまちづくり」という大きなタイトルで示しています。大綱の下に位置づけられるビジョンに示してありますので、それを大綱にも入れるかどうかは今後検討したいと思います。

○町長

その他に何かございますか。

○菊地昭一委員

この間伊王野小学校を訪問した際に先生方に話したのですが、子どもが生まれた瞬間に最初に吸った空気は生涯肺の中に残り息を引き取るときにその空気をはき出すといいます。那須に生まれ最初に吸った那須の空気をずっと体内に宿しながら生活していき学校で先生方と出会い、色々なことを教わる中で生涯学習のヒントになるようなものを得ることもあると思う。先生方をお願いしたいのは、石に興味があり、一人で石を眺めているような子がいたらそれを褒めてやって欲しいということ。勉強が優秀な人、スポーツが優秀な人と人それぞれと思うが、人から見ればつまらない趣味のようなものでも自分を育てる生涯学習につながるようなものがあるのではないかと思います。先生に褒められたことが力になり、そこから

出発できる子どももいると思う。自分の経験でも子どもの頃に1つのことを褒められ、プロにはなれなかったが、それがこれまでもそしてこれからも自分を育てる生涯学習的なものに繋がっているということがある。仕事や子育て以外に自分を育てる生涯学習的なもので、夢に向かって生きていけるものがあるというのはすばらしいことだと思います。80歳になっても90歳になっても夢に向かって生きていけるという気持ちをもたせるのは、小さいときかけられた1つの言葉ということもあると思います。自分が好きなことをやっているときは痛みを忘れるという瞬間もあると思う。また、癒やしは治すにいたらずという言葉があるが、病は治せないまでもやはり癒やしは必要だと思う。生涯にわたり自分が本当に好きなことを見つけてということが夢に向かうための教育だと思うので、それは大切なことだと思います。

○町長

ただ今、菊地委員から自分が好きなこと、やりがい、生きがいそういったものを伸ばせるような教育大綱にしていきたいということですので、それらにも配慮していただきたいと思います。その他にございますか。

○教育長

菊地委員がおっしゃったようなことが、基本理念の「夢・感動あふれる人づくり」の中にマッチした文言として入れれば良いと思っています。前回の研修会の協議を受け、時間の無い中で事務局も苦労したところかと思いますが、私としましてはもう一押しとっております。夢は人生を豊にし、感動は人を変える力があると思います。夢を見たり感動できるというのは人間だけのものだと思います。私が教育長になったときにみんなで侃々諤々して作った言葉がこの

「夢・感動あふれる人づくり」です。思いとしてはそれぞれの成長過程において、夢や目標を持ってそれに向かって努力する。それが結果として表れなくても、自分では達成感・成就感に繋がるし、一所懸命やっている姿は周囲にも感動を与えます。夢を持って地道に努力し感動する。その感動というものは新たな夢に向かう原動力となると思います。そういった良いスパイラルとなり生きがいを生むような人生を「那須のひとづくり」のベースに据えたいと考えて

「夢・感動あふれる人づくり」という文言を入れました。そのあたりもふまえて、基本理念のこの3行はもう少し努力したいと思えます。また、先ほど菊地厚子委員がおっしゃった、自分ができるよう

になったことをどれだけ地域に還元できるかということは生涯学習の大切な部分で、それがさらなる生きがいつくりに繋がっていくものだと思います。その辺のところは、基本方針（２）の文言を少し変えることでその思いが伝わるのではないかと思います。

○町長

その他に何かございますか。

○大森源一郎委員長

私は「夢・感動あふれる人づくり」というのは非常に良い言葉だと思っています。現在の教育長がこの言葉どおり全て情熱的に一所懸命行っているからこういう言葉ができたと思う。とにかくひたむきに一所懸命にやるということがこの言葉に込められているのだと思います。私は、大綱なのであまり細かい部分までいちいち書く必要はないと思う。同じ言葉でも人によって感じ方はそれぞれなので、あまり細かくしてはそれだけのものでしかなくなってしまうと思います。「社会に貢献云々」とか入れるのがいけないとは言わないが、あまり入れすぎるとかえって安っぽくなってしまいます。

○町長

誰もが読んでわかるような内容も必要だし、大綱としての尊厳も

必要だということだろうと思います。他の自治体の大綱は非常にシンプルなものもあり、それから比べるとかなり細かいところまで言及しているなとも思います。その他にはいかがでしょうか。

○鈴木尚哉委員

私も大森委員長と同じ意見で、議論しているのはあくまでも大綱なんですよね。我々が勘違いしやすいのは先に学校教育ビジョンや生涯学習ビジョンを見ているので何となくもっと豪華にしたいと思いがちになってしまうのではないのでしょうか。本来は大綱があり、その下にビジョンがあるものですから、細かい部分はビジョン等で補充していけば良いのではないかと思います。

○町長

その他にはいかがでしょうか。色々のご意見も出たようでありまして、振興計画の素案も皆様にお示しして再度ご検討いただくことになると思いますが、本日お示しした大綱（案）にそってこれからさらにきちんとしたものに仕上げていくということによろしいでしょうか。

（異議なし）

○町長

それではそのようなことでよろしく申し上げます。ここで教育大綱に関係する子ども未来課長は退席となります。ありがとうございました。

次に、協議事項「（２）平成２８年度主要事業について」を議題といたします。

事務局で説明をお願いします。

○学校教育課長及び生涯学習課長（資料２「平成２８年度 教育委員会主要事業について」）により説明

○町長

学校教育関係、生涯学習関係それぞれ主要なものをピックアップして説明がありました。ただいまの説明に対し皆様からご質問ご意見はありますか。

○菊地厚子委員

電子黒板の数を確認したいことが１つと、ICT検討委員会の中でどのような意見が出されているのか教えてください。

○学校教育課長

検討委員会の具体的な協議の内容につきましては、事務局を担当しております井上と大田原が同席しておりますのでそちらから説明

させます。

○学校教育課大田原係長

ご質問のありましたICT機器整備事業についてご説明いたします。学校教育課として児童生徒のICT機器導入計画を5年間ということを立てました。文科省も振興計画の中で4点ほど整備目標を掲げております。1つは児童生徒のパソコンの整備、2つ目は電子黒板と実物投影機を1セットとして1学級に1つ整備する。3つ目はインターネットのLAN環境の整備。もう1つは校務用パソコンを先生に各1台整備するというものです。これを基に本町でもどのような整備計画を作成したら良いかということでICT検討委員会の中で検討していただきました。電子黒板の台数につきまして、本町には電子黒板が1台も整備されておられませんので、平成28年度から実物投影機とセットで小中学校については5・6年生を対象に各クラス1セット。中学校については全学年各クラス1セットずつ整備していこうと考えております。小学校が5・6年生対象という理由については、中学校に進んだ後もスムーズな授業展開ができるのではないかということからです。タブレットについては各小中学校のパソコン室に40台程度のパソコンが整備されておりますので、そちらを順

次タブレット型のパソコンに入れ替えていく予定です。検討委員会の内容については、井上指導主事からご説明いたします。

○学校教育課井上指導主事

検討委員会ですが、計5回開催しまして、その中で先進校視察として那須塩原市の豊浦小学校の授業研究会に出席し、那須塩原市の整備状況の説明を受けました。また、黒田原中学校を会場にして機器選定に際してのデモなども行いました。その中で出された意見としては主に6つほどありました。1つは授業支援に係る整備を優先させて欲しいということで、これが電子黒板の整備です。2つめとしてLAN環境の整備で、大規模改修工事が終了した黒田原中と黒田原小には各教室に情報コンセントが整備されていますが、その他の学校はLAN整備がゼロとなっています。3つめはパソコン室の整備で、今までの固定型からタブレット等を含めた移動型に転換して行けば様々な教育環境に対応していけるのではないかとということ。4つめはICT教育を推進していく上で那須塩原市や大田原市も支援員を導入しておりますが、支援員による研修等期間の設定。5つめとして校務用ICT環境の整備の必要性。6つめは導入整備計画及び効果に関する検証の実施といったことで、優先順位としては授業の充実を図

るための支援ということで、電子黒板を先行して整備し、その後タブレットと校内LAN環境の整備を同時に整備しないと活用が上手く図れない部分がありますので、それらを行うべきであるということが検討委員会の委員から出された意見です。

○町長

ただいまの説明に対し皆様からご質問ご意見はありますか。

○大森源一郎委員長

私も授業参観などで、先生方が模造紙に色々書いて黒板に貼り付けたりしているのを見たことがあります。電子黒板があつたらかなり有効的な活用ができると感じますので、すぐにでも入れて欲しいと思います。導入計画としてはどんな感じでしたか。

○学校教育課井上指導主事

計画としては各普通教室に1台を目標としていますが、1度には無理なので中学校と小学校の5・6年生の学級数分を優先的に入れていきたいと考えています。

○町長

私の方からよろしいでしょうか。言い訳になってしまうかも知れませんが、県内で電子黒板が1台も入っていないのは那須町くらい

という話がありまして、お恥ずかしい限りと思っています。実は私はタブレットが現在5台目で、かなり以前から使用しており最先端を行っているというように言われておりました。学校におけるタブレット導入、ICT活用についても考えておりましたが、原発事故の対応に何年も追われてしまい、また現在進めている小中学校の適正配置にも思った以上に費用がかかっております。黒田原小学校は耐震工事も含め6億円、黒田原中学校は8億円、大島小学校は5億円、東陽中がプールも含め約4億円かかるということで、余力が無かったということです。これからもスクールバスの運行費用が最終的には毎年2億円もかかるということで、その辺も財政を圧迫しているということでなかなか導入に踏み切れなかったのが実情です。ただ、ここに来て先生方の負担も大きく、子どもたちの教育にも悪影響を起ししかねないということですので、5年と言わずできるだけ導入速度も速めていければと考えております。

○鈴木尚哉委員

2年ほど前にタブレットの導入について話題になった際も、那須町は生の先生の授業が大切なので焦らないで検討するという話が出たと思います。また、先生方が使いこなせるようにしないと導入し

でもなかなか効果が上がらないのではないかという話も出たように思う。先ほどの説明で先行して導入した他市町でリスクが出ているということがあったと思うが、どのようなリスクがあり、それに対する対処法について伺いたいと思います。

○学校教育課大田原係長

確かに学校現場でも配られても使えないという不安はあるかと思っています。その為に先ほど井上からもご説明しましたが、ICT支援員というものを各市町でも活用して、どのような教材でどのような授業ができるかまでをサポートできる人材を派遣するというのが主流になっています。ソフトをどのように活用するかやインターネットにつないでどのような授業ができるかということで各市町で支援員を活用しておりますので本町もそのように考えております。現場の先生からもそのような要望をいただいているので支援員を導入する方向で検討しております。

○大森源一郎委員長

タブレットと電子黒板は使い方が違うので、その辺は区別して計画を進めていってもらいたいと思います。

○菊地厚子委員

私も委員長と同じ意見で、電子黒板は先生の負担を軽くする意味では導入して欲しいと思います。タブレットについては、子どもに持たせるべきかどうかということも含めて、よくよく検討を重ねた上で導入して欲しいと思います。

○町長

導入すべきものは導入するが、慎重にすべきところは慎重にというご意見ですのでそのように進めて行きたいと思います。

○教育長

タブレットについてはどこまで使ったら良いのかということが、自治体によってずいぶん違う気がします。那須塩原市が目指している反転授業についてもその効果がまだ検証されていないのが現状です。ただ、子どもたちが体育の授業などで、マット運動や跳び箱のフォームを撮影して褒め合うなどするのはとても良い使い方だと思います。全体的な弊害などについてまだまだ検証されていませんが、これから先タブレットを使わない社会というのは考えにくいと思いますので前向きに検討していかなければならないのかと思います。また、パソコンについても技術の授業で使用しますので無くすわけにはいかないと考えます。パソコンとタブレットを別々に整備とい

うと現在、適正配置でこれまでになく財政を圧迫している上にさらに負担をかけることになっていきますので、時期を考えてちょうどパソコンのリース期間が切れる時期になってきていますので、パソコンの更新にあわせてパソコンとタブレットのいわゆるハイブリッド型を導入する方向で検討しようということでこの時期を待っていたということもあります。

○大森源一郎委員長

入れ替えの時期にきているならば便利な方が良いと思いますのでぜひそういった方向で検討して欲しいと思います。

○町長

その他にはいかがでしょうか。生涯学習課の方ではいかがですか。

○大森源一郎委員長

文化財包蔵地分布図はぜひ作成して欲しいと思いますが、予算はどの位かかるのですか。

○生涯学習課長

見積で年間約500万円以上で、国の補助が約150万円で町負担が約400万円です。今年分譲地から文化財が出てきて、県の職員にも確認してもらったところそこはそういう場所であるという評

価をしているのですが、分譲会社にしてみれば今さらそんなことを言われてもということで問題が実際に起きています。昭和37年に調査して地図上に落としたものしかないのが現状で、それをパソコンで検索できるようなものにしたいと考えています。

○大森源一郎委員長

ぜひ進めるべきものと思います。

○教育長

スイミングドーム入場100万人達成記念事業の「那須町公認100mを泳げる子チャレンジ認定会」はどのようなことをする予定ですか。

○生涯学習課佐藤補佐

これまで各学校において行われてきたものですが、学校ごとにはばらつきがあるということで、スイミングドームを使い、専門の講師の指導の下で100mをきちんと泳げる子の認定をしたいと考えています。夏休みが終わった時期にスイミングドームで実施して、認定証や記念のバッジをプレゼントしたいと思います。

○教育長

既に各学校で行っておりまして、100m泳げるという認定証を

出しています。例えば伊王野小学校ですと6年生で7割くらいは泳げるようになっているということです。那須町はかなりレベルが高いと思います。学校教育課とすりあわせて行っていただくと良いと思います。

○町長

その他にございませんか。それでは他に御意見ご質問等無いようですので、協議事項（2）の平成28年度主要事業についてはこのような形で進めるということよろしいでしょうか。

（異議なし）

○町長

それでは予定した協議事項についてはこれで全て終了しましたが、
4 その他で委員の皆様か事務局から何かございますか。

○生涯学習課長

1 2月22日ですが教育委員と社会教育委員との懇談会を午後3時30分から行い、その後場所を変えて懇親会を行いたいと考えております。間もなく通知を出させていただく予定です。

○教育長

この間壬生町を視察に行きまして、社会教育委員さんの活動状況

を見てまいりました。那須町の社会教育委員条例に社会教育委員の職務として、「教育委員の諮問に応じ、これに対し意見を述べること。や、そのために必要な調査研究を行うこと。」とありますが、これまでそのような関係がありませんでした。それをきちんと行って活性化されているのが壬生町ということで、那須町でも同じようにできないかと考えまして、社会教育委員さんからもぜひ懇談会をもちたいという声がありましたので、初めての試みということで行いたいと思います。

○町長

初めての試みということですが両者が親交を深められれば、那須町の教育界にとっては大きな意義があると思いますのでぜひよろしくお願いします。その他に何かありますか。他に何もなければ、以上をもちまして第2回総合教育会議を閉会させていただきます。

ありがとうございました。